

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニセンター
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	公園課

2 管理実績

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
ポニー乗馬利用者数合計(人)	62,588	60,607	69,824				
ポニー乗馬利用料金合計(円)	8,049,860	7,761,390	8,969,870				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>成果指標の達成度は全体平均で「112.5%」であったため「S評価」となった。</p> <p>「ポニー乗馬」については、目標値は達成できなかったが、前年度に比べて約15%増加していることや少子化等を考慮すると、評価できる実績だと考える。夏の時期の猛暑や雨や雪等の天候の影響を直接受けることから、運営方法の見直しを検討する等、引き続き利用者の増加に努めていただきたい。</p> <p>「動物フェスティバル」については、全ての指標において目標値を達成し、参加人数は前年度に比べて約50%増加していることから、とても魅力のあるイベントだったと考えられる。通常運営のプログラムに加えて、特別なプログラム等を盛り込んでおり、動物広場を利用したことがない方の初めての利用のきっかけになっている。次年度以降も、新たな取組を企画し、利用者の増加に努めていただきたい。</p>

指標1

指標名(単位)	ポニー乗馬利用人数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度 = 実績値 / 目標値

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	63,000	63,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
実績値(人)	62,588	60,607	69,824				
達成度(%)	99.3%	96.2%	86.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2							
指標名(単位)	動物フェスティバル参加人数(年2回の合計)(人)						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)			8,000	8,100	8,200	8,300	8,400
実績値(人)	6,700	7,000	10,300				
達成度(%)			128.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標3							
指標名(単位)	動物フェスティバルにおいて「命の尊さや動物飼育の責任の重さについて知識を深めた」と回答した人の割合(%)						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)			80	80	80	80	80
実績値(%)			92				
達成度(%)			115.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標4							
指標名(単位)	動物フェスティバルにおいて「また、動物広場に来よう」と回答した人の割合(%)						
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値						
項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)			80	80	80	80	80
実績値(%)			96				
達成度(%)			120.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>事業の実施状況については、基準点に対する実績点の割合が「168%」であったため「S評価」となった。</p> <p>企画提案事業については、ほとんどの事業で目標値を大幅に上回っており、リピーターも多いことから、利用者に再来場したいと思っていただけるような管理運営ができています。評価できる。</p> <p>自主事業については、新規事業を複数実施しており、「ポニーブラッシング体験」では、2歳未満でポニー乗馬ができない幼児もポニーと触れ合うことができ、「ポニー乗馬スタンプカード」では、スタンプを貯めることで再度の利用を促すことができるので、施設利用者の増加に貢献できている点が評価できる。</p> <p>引き続き、施設の魅力向上や利用者の増加に努めていただきたい。</p>

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ポニー乗馬	通年 (休場日除く)	2歳～小学6年生が乗馬できるポニーの引馬。回数制限は無いので、1日に何度も乗馬していただける子どもも多い。ポイントカードの導入で繰り返し乗る子どもが増えた。馬に跨ることができれば、障がいのある子どもでも乗馬できる。 (参加者:69,824人)	◎
小動物とのふれあい	通年 (休場日除く)	モルモットの抱っこや、ウサギ、ヤギ、ヒツジとのふれあいができる。年齢制限は無いので赤ちゃんから高齢者まで利用可能。ポニーなどの大きい動物がまだ難しい方への、動物とのふれあいの最初のアプローチになる。大人の常連の方も多い。 (参加者:154,531人)	◎
動物の展示	通年 (休場日除く)	鳥類、爬虫類、哺乳類、様々な種類の動物を見ることができる。各動物舎に動物の説明看板も取り付けてあり、見るだけではわからない動物のことを知ることができる。小鳥達が放し飼いされ自由に飛び回っている中に入ることが可能であるウォークインバードケージはとても人気がある。	○
ポニー教室	年6回 (各回5日間)	市内在住の小中学生が参加可能。内容は乗馬や馬小屋掃除・手入れ等。馬の世話だけではなく、毎回乗馬もできるので保護者からも喜ばれている。スタッフだけではなく、参加者と年齢が近いポニーボランティアが指導にあたっている点も好評である。 (参加者:352人)	◎
障がいのある児童生徒のためのポニー乗馬教室	月6回 (毎月第2・3・4土曜日の午前・午後)	市内在住4歳～中学3年生(障がいのある子ども)が参加可能。内容は乗馬・馬小屋掃除・手入れ等。参加人数は年々増え、学校以外での障がいを持った子どもたちの活動、交流の場となっている。 (参加者:307人)	◎
動物クラブ	6月～3月 (休園日除く)	小学3年生～中学3年生が参加可能。ポニー以外のふれあい、展示動物の飼育体験、ふれあいコーナーの接客等を行う。異年齢の交流の場にもなっている。 (参加者:778人)	○
動物フェスティバル	4月21日 10月6日	日常のプログラムのほか、各種ゲーム、アトラクションを場内に設置し、普段とは趣の異なった動物広場を楽しんでもらう。動物広場に初めて来てもらうきっかけにもなっている。 (参加者:10,300人)	◎

登校をためらいがちな児童を支援するプログラム(はらっぱ)	2月13日 2月20日	登校をためらいがちな小中学生が対象で、動物とのふれあいやポニーの飼育体験等を行う。一人ひとりの状況に合わせて、学校でも家でもない、新しい居場所にできるように心掛けている。実績数はまだ少ないので今後も広報活動が続ける。(参加者:8人)	○
------------------------------	----------------	--	---

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	
子どもポニーボランティアの育成	通年 (休場日除く)	ポニー教室に参加経験のある小学1年生～中学3年生が対象。ポニーの飼育管理、乗馬はもちろん、ポニー教室ではプログラムの中心的な推進役として活躍している。動物フェスティバルでの乗馬演技披露なども行っている。(参加者:1,696人)	◎
移動動物教室	通年 (広場業務に支障がないように)	ポニーと小動物を市内及び近隣市町の公共施設に派遣。学校の授業の一環として、また、動物広場へ足を運ぶことが難しい方の普段の活動場所(福祉施設等)でのポニー乗馬、動物とのふれあいも提供している。市民に動物広場を広く知ってもらおう広報機会にもなっている。(実施回数:26回)	◎
さがみはらっこポニーキャンプ	年2回 (7月～11月)	市内在住の小学1年生～中学3年生が参加可能な宿泊キャンプ。親元を離れ、動物広場とは違う場所での乗馬練習や、学校も学年も違う仲間との異年齢交流が経験できる。参加者には大変好評だが、他のプログラムに比べて参加費が高くなるため、参加者は限られる。(参加者:28人)	○
親子二人乗り乗馬	通年	2歳から小学3年生の子どもが保護者と大きいポニーに二人乗りが出来る。一人で乗るのが怖い子どもも大人と一緒に乗ることができ、親子の思い出づくりとしても好評である。(参加者:2,094組)	◎
動物のエサやり体験	通年 (休場日除く)	ふれあいコーナーの動物やポニーへエサやり体験ができ、来場者が動物と近づくきっかけとなる。動物の体調を考えながら数を調整しているが、沢山の方に参加していただける大人気のプログラムとなっている。(参加者:64,880人)	◎
大きいポニーへのエサやり体験	毎月3～4回	通常のポニー乗馬では乗れない、大きいポニーへのエサやり体験。子どもの目線では迫力を感じられ、特別感のあるイベント。(参加者:1,098人)	○
特別展示プログラム	通年 (休場日除く)	アクアリウムさがみはら(相模川ふれあい科学館)との施設相互の活性化を目的とした期間限定の企画展示で、水槽を設置し、淡水魚の展示を行う。アクアリウムさがみはらの管理指導のもと、暑い夏の時期に利用者新しい動物広場の楽しみ方を提供している。	○

大人の乗馬プログラム (季節のプログラム)	5月19日 6月9日 9月16日 11月23日 1月12日 2月16日 3月15日	季節の行事に合わせた乗馬プログラム。 母の日や父の日、敬老の日等の行事に合わせて実施し、普段は機会のない中学生以上も乗馬をすることができる。 (参加者:293人)	◎
健康づくりポニー乗馬	通年	16歳(高校生)から高齢者、要介護者等を対象とした、健康づくり、介護予防を目的とした乗馬教室。暑さの厳しい7月・8月を除いて、月3回の開催。 申込開始日に予約が埋まってしまうこともある人気プログラムで、「障害のある児童のポニー乗馬教室」を卒業した子の活動の場にもなっている。 (参加者:103人)	○
季節のプログラム「クリスマス」	12月22日、 24日、25日	ポニーをより身近な存在に感じてもらうことを目的に、季節に合わせたプログラムとしてサンタクロースに扮したポニーと一緒に写真撮影し、特製の缶バッチもプレゼントした。馬場でゆったりと家族全員で写真に収まることができ、好評であった。 (参加者:66組)	◎
ポニーブラッシング体験	2月～3月 (休園日を除いた平日)	小さいポニーのブラッシング体験。ウシのブラッシング体験を停止したことに伴い、代替プログラムとして開始した。年齢制限は無いため、ポニーに乗れない2歳未満の子も参加ができる。 ただブラッシングをするだけではなく、ブラッシングのメリットなど、ポニーの知識も一緒にレクチャーしている。 (参加者:73人)	◎
ハロウィン特別企画 「仮装したポニーと写真撮影」	10月29日～31日	ポニーをより身近な存在に感じてもらうことを目的に、季節に合わせたプログラムとして、今年度より新しく開催。 仮装したポニーと一緒に写真撮影ができ、特製の缶バッチもプレゼントした。園内チラシだけではなく、SNSでの宣伝も行い、初めての開催だが多くの参加者があった。 ハロウィンの仮装をして参加してくれる方もいて好評だった。 (参加者:39組)	◎
ポニー乗馬スタンプカード	10月から通年 (休場日除く)	ポニー乗馬の複数回利用促進の一環として今年度より開催した。5回・10回・15回と回数を重ねて利用していただいた方にポストカードや缶バッチ、ステッカー等をプレゼントしている。 (参加者:1,500人)	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>利用者満足度調査の目標値に対する達成度が「107.8%」であったため「A評価」となった。</p> <p>令和5年度に人参の価格を100円から200円に値上げしているが、アンケート回答者の約70%の方には理解していただいております、利用者が減少することもなく売上を伸ばすことができました。</p> <p>例年、安定して高い実績値が続いており、利用者のニーズに応えつつ、スタッフや管理者の対応の良さがうかがえるため、評価できる。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置/272部
目標値の基準	5段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせて90%

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90	90	90				
実績値（%）	100	100	97				
達成度（%）	111.1%	111.1%	107.8%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ポニー教室 保護者アンケート	年6回 各回終了後	年6回開催するポニー教室終了後に保護者へのアンケートの回答を依頼した。毎回、ほぼすべての保護者から回答を得ており、おおむね好評を得ている。
動物クラブ 保護者アンケート	年1回 年度末	動物クラブの保護者に対し、期末にアンケートの回答を依頼した。約9割の保護者から回答を得ており、おおむね好評を得ている。
ご意見箱の設置	通年	窓口近くにご意見箱を設置し、意見を提出できるようにしている。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	施設収支は本体事業収支が赤字、全体収支が黒字であり、本体の財務状況は良好、特段の課題はないため、「A評価」となった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)		93,503	92,930	91,848
	指定管理料	84,834	84,834	82,879
	利用料金収入	8,049	7,761	8,969
	その他の収入	620	335	0
支出 (b)		95,533	95,563	101,285
	人件費	56,062	59,382	63,709
	本社管理経費	10,409	6,533	8,192
	その他の支出	29,062	29,648	29,384
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-2,030	-2,633	-9,437
自主事業収入 (d)		11,932	13,908	24,723
自主事業支出 (e)		13,252	13,269	14,394
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		-1,320	639	10,329
全体収支 [(c)+(f)]		-3,350	-1,994	892
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	ホームページをリニューアルし、動物広場のイベント情報がブログなどと連携し、分かりやすく情報発信を行えるようになった。

9 指定管理者の自己評価

「ポニー乗馬」については、前年度と比較して1万人近く利用者が増加した。コロナ禍の影響が減じたことが大きい。ポイントカードを発行しリピーターを獲得したことやSNSでの定期的な情報発信等の地道な努力が功を奏したと考えている。夏季の酷暑や主な利用者である未就学児人口の減少により厳しい状況が続くが、利用者数の維持に努めたい。

「動物のエサやり体験」については、前年度に人参の価格を100円から200円に値上げしたが、利用が減少することなく、大いに売上を伸ばすことにつながった。このことから、能動的な体験を伴うプログラムの需要が高いと考え、令和6年度後半には新たな体験型プログラムとして「ポニーブラッシング体験」を開始し、運営や管理方法については、徐々に定着してきているため、次年度に向けて改良を重ね、利用者の更なる満足度の向上につなげたいと考えている。

10 所管課意見

成果指標については、昨年度と比較して、「ポニー乗馬」の利用者数は約15%、「動物フェスティバル」の利用者数は約50%増加していることから、利用者のニーズを考慮した企画や管理等が適切に実施できていると考えられる。また、「動物フェスティバル」のアンケート回答からも高い評価が確認できるので、引き続き利用者に寄り添った運営等に努めていただきたい。

事業の実施状況については、令和5年2月に飼育料や人件費等の理由により、人参の価格を2倍に値上げしたが、利用者が減少することなく、売上金額を伸ばすことができた。このことから、「動物のエサやり体験」を含めた、動物と接する体験の需要の高さがうかがえるため、新規の自主事業として実施した「ポニーブラッシング体験」は利用者のニーズを上手く捉えた事業であることが評価でき、引き続き実施していただきたい。

施設の収支状況については、黒字に転じている点について大いに評価できる。

天候や気温の影響が利用者数に直接影響する部分があるが、SNSを利用した施設情報の周知や、動物広場を利用したことがない方の興味を引くような新規事業の企画立案等に積極的に努めていただき、利用者数の増加につなげていただきたい。

11 選考委員会意見

「ポニー乗馬」の目標値が高いため、実績値が目標値に届いていないが、前年度と比較して利用者数は大幅に増加しているため、引き続き目標達成に向けて努めていただきたい。

「ポニー乗馬」を中心として、利用者数だけではなく、人を育てることができる場を持っていることは高く評価できる。天候に左右される状況や「動物の展示」のラインナップに課題はあるが、前向きな検討と、時代に合わせた柔軟な対応をお願いしたい。

動物の体調管理や、エサ代の高騰等の課題はあるが、新しい企画等も考えていただいております。とてもありがたいと感じている。地域活性化に資する取組として、「市民ボランティアの育成」、「大学との連携」及び「地元商業施設等との連携」等を実施していただいている点は評価できる。

樹木については、適切な管理をしていただいた上で、新しい樹木の育成にも関心を向けていただきたい。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

